

㈱ジー・テック 環境行動計画

取 組 方 針

株式会社ジー・テックはかけがえのない自然を大切にし、環境にやさしい商品づくりを通して、社会の発展に貢献いたします。

当社の事業活動を進めていく中で、環境問題は企業の社会的責任であると認識し、当社の射出成型の製造販売及び金型部品の製造、販売に関するすべての事業活動を通して環境負荷を積極的に軽減し、社会の継続的発展に寄与できるよう、以下の環境保全活動を全員で参加し一丸となって推進します。

- ① 事業活動の中での省エネルギーと省資源（紙使用量の節減・節水）
- ② 製造部門、事務管理部門における廃棄物の削減と再資源化
- ③ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底

この方針に基づいて社員一人ひとりが高い環境意識を持ち、自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全職員に周知します。

平成23年5月12日

株式会社ジー・テック

代表取締役 山崎 勝美

3. 環境負荷低減の取組目標及び具体的な取組項目

当社では、事業活動に伴う環境負荷を低減するため、取組目標及び具体的な取組項目を設定して行うこととします。設定した目標及び取組項目は、以下のとおりです。

【取組 1】 二酸化炭素の総排出量（売上高当たり）を 22 年度を基準に 24 年度までに 2%削減する。

【具体的な取組】

（事務所及び作業場での具体的な取組）

- ① 室内の空調温度を適切に設定する。（冷房時 28 度 暖房時 20 度）
- ② 昼休み消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する。
- ③ パソコン、コピー機の節減機能を活用する。
- ④ 使用していない電気器具の主電源を切り、待機電力を削減する。
- ⑤ 電球型蛍光灯等を導入し、照明器具の省エネ化を図る。
- ⑥ 休日前には、パソコンのコンセントを抜いておく。

（車両での取組）

- ① 車両の点検を定期的に行う。
- ② アイドリングストップを徹底する。
- ③ エコドライブに取組む。（アイドリングストップ、ふんわりアクセル）
- ④ エコカー（低燃費・低公害車）の購入を推進。
- ⑤ 車で移動する際は、乗り合わせを徹底する。
- ⑥ 給油時タイヤの空気圧をチェックし燃費の向上に努める。

【取組 2】 産業廃棄物の排出量（売上高当たり）を 22 年度を基準に 24 年度までに 2%削減する。

なお、一般廃棄物については、今後測定し数値目標を設定する。

【具体的な取組】

- ① 廃棄物は決められたゴミ箱に分別して出す。
- ② シュレッダーの使用は精密書類に限定する。
- ③ 詰め替え可能な製品を優先的に購入・使用する。
- ④ 使用済みの段ボール、梱包材、荷造りひもを分別する。
- ⑤ ファイル、ホルダーなどは繰り返し使用する。
- ⑥ 紙のリサイクルに努める。
- ⑦ 再利用、リサイクルしやすい製品を優先的に購入する。
- ⑧ 製品をできるだけ長期間使用する。
- ⑨ 仕入れ・納入にはできるだけ通い箱を使用する。

【取組 3】コピー用紙の使用量を 22 年度を基準に 24 年度までに 2%削減する。

【具体的な取組】

- ① コピーをする際は、その必要性を十分考えてコピーする。
- ② コピー終了の際は、次の人のミスコピーを防ぐため、リセットボタンを押すことを励行する。
- ③ 使用済み用紙の裏面を利用する。
- ④ 顧客情報等を含まないコピー用紙の裏面活用を図る。
- ⑤ コピー機のガラス面は、常にきれいにしておく。
- ⑥ コピー機やプリンターのそばに再利用紙専用トレーを置き、再利用紙の活用を図る。
- ⑦ 電子メディアの利用によっては、ペーパーレス化を推進する。

【取組 4】水の使用量を 22 年度を基準に 24 年度までに 2%削減する。

【具体的な取組】

- ① 手洗い場に節水を呼び掛ける標語シールを提示する。
- ② 効率的な水の利用に取組み
- ③ 配管からの漏水を定期的に点検する。
- ④ 洗車するときは、水を流しっぱなしにしないようにする。
- ⑤ 水道蛇口に節水こまを取り付ける。

【取組 5】環境保全に係るその他の取組

【具体的な取組】

- ① 毎月、全社員による現場総点検を行い、5 Sを徹底する。
- ② 社員による技術提案制度で、環境への取組についても提案募集する。
- ③ 製品、材料等は決められた場所に返却する。

4. 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画に基づき環境保全活動を効果的に実施するため、環境保全活動の責任者を中心に組織的に取り組むとともに、その進捗状況を年 2 回チェックします。